

## 将来の自立へ 金融を役立てて

グループワークで、欲しいものを手に入れるのにお金がどれほどかかるか考える子どもたち。昭和三郎の駒方寮で



### 昭和三郎 銀行支店が児童施設で講義

将来の自立に役立ててもらおうと、昭和三郎の三菱UFJ銀行滝子支店は21日、区内の児童養護施設「駒方寮」で金融教育の講義をした。施設で生活する小学4〜6年生の15人が参加し、将来の目標づくりやお金の役割について学んだ。

滝子支店としては初の取り組みで、秋山佳子支店長ら行員5人が先生役を務めた。「一人暮らしをする」「結婚する」といった将来の計画をライフプランと呼ぶことや、お金には価値の交換をスムーズにする役割があることを伝えた。グループワークでは、子どもたちが「ペット」や「おもちゃのパソコン」など欲しいものを挙げながら、それらを全て購入するために必要なお金のいくらかを考えた。支店は今後、施設に50万円を寄付する。空気清浄器や掃除機などの購入に充てられるという。

(森若奈)